

新たな北海道総合計画の策定に係る道民意向調査

- この調査は、北海道が行うものです。
- 北海道では、長期的な展望に立って、政策の基本的な方向を示すため、「北海道総合計画」を策定し、この計画に沿って、様々な取組を行っています。
現在の計画の期間は令和7年度（2025年度）までとなっていますが、不安定な国際情勢などを背景に、エネルギーや食料の安定供給に対する懸念が身近なものになるなど、情勢が大きく変化していることを踏まえ、新たな計画を策定することとしました。
- この調査は、道民の皆さまが、北海道の将来についてどのように考えているかをお伺いし、新たな計画の参考とさせていただくことを目的としています。
貴重な時間をいただき、たいへん恐縮ですが、お考えをお聞かせください。
- 調査対象者の選定にあたりましては、道内にお住まいの18歳以上の方、1,500名を無作為に選ばせていただきました。
- この調査を行うにあたりましては、特に次の点に注意を払っております。
(1) 無記名であり、あなたの名前が外部にでることはありません。
(2) ご回答いただいた内容は、統計数値として取りまとめる以外に用いることはありません。
(3) 集計後の調査票は、北海道が責任をもって破棄いたしますので、個人の秘密は絶対に守られ、あなたにご迷惑のかかることはありません。

ご記入にあたって

- 1 回答は、問1～問8、問10～問15につきましては、あてはまる数字（番号）を○で囲んでください（「その他」を選んだ場合は、あなたのお考えを記載してください）。
問9につきましては、それぞれの項目にあてはまる記号（英字・カナ）を表に記載してください。
問16につきましては、北海道総合計画について、ご意見・ご要望があれば記載してください。
- 2 質問のすべてにお答えいただけましたら、お手数ですが、ご記入漏れのないことをお確かめのうえ、この調査票を同封の封筒に入れて（切手は不要）、
令和5年9月22日（金）までに郵便ポストへ投函願います。
- 3 返信用封筒のあて先は、北海道が調査を委託した会社となっています。
「調査委託会社：昇寿チャート株式会社」
- 4 この調査についてご不明の点がございましたら、恐れ入りますが下記までお問い合わせ願います。

【お問い合わせ先】

北海道総合政策部計画局計画推進課（担当：小長谷、鳴海）

札幌市中央区北3条西6丁目

電話(011)231-4111（内線23-138）直通011-204-5630

FAX(011)232-8924 E-mail: keikaku.suishin@pref.hokkaido.lg.jp

生活の満足度と重要度について

問1 あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。また、今後の生活にとってどの程度重要であると思いますか。以下の各項目について、【満足度】と【重要度】から、番号をそれぞれ1つずつ選んでください。

- 【満足度】 1 満足している 2 まあまあ満足している 3 どちらともいえない
 4 やや不満である 5 不満である
- 【重要度】 1 重要である 2 まあまあ重要である 3 どちらともいえない
 4 あまり重要でない 5 重要でない

くらし全般（物価・地価、住環境 など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
地域社会・経済（まちに活気やにぎわいがあること、日常の買い物環境 など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
環境（自然環境・資源のリサイクル など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
教育（充実した教育を受けることができること など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
医療（必要な医療をいつでも受けることができること など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
子育て（子育て環境 など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
福祉（高齢者や障がいのある方が地域で生き生きと生活できる環境 など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
仕事（働く場が確保されていること、希望する職業で働けること、労働環境 など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
防災（地震や水害などへの防災対策 など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
安全（犯罪・交通事故の心配がなく安心して生活できること など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
交通・道路（通勤・通学や買い物への交通の便、行きたい場所への移動に困らないこと など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5
情報・デジタル（インターネットの使用環境が整っていること、個人情報を守られていること など）	【満足度】	1	2	3	4	5
	【重要度】	1	2	3	4	5



2050年の北海道の姿について

問2 2050年の北海道がどのような社会であってほしいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1	産業活動が活発で、経済の活力に満ちている
2	日常の買い物や公共交通の便、インターネット環境など、生活環境が整っている
3	高齢者や障がい者を含め、誰もが活躍できている
4	豊かな自然に恵まれている
5	ゆとりのある生活を送ることができている
6	一人ひとりの個性や能力が活かされている
7	教育や文化の水準が高まっている
8	その他 ()

今後の社会的問題について

問3 家庭や地域の中で、これから2030年にかけてどのようなことが特に大きな問題になると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1	老後の生活
2	家庭のきずなが弱まること
3	地域の連帯感が薄れること
4	青少年の教育
5	生活の安心、安全をおびやかす犯罪
6	交通事故
7	地震や台風などの災害
8	地球温暖化
9	個人情報流出・プライバシーの侵害
10	その他 ()



経済・産業の活性化について

問4 道内の経済・産業の活性化を図るため、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1	空港や港など、国際的な交通ネットワーク拠点や物流拠点の整備
2	食や観光、エネルギーなど、北海道の特性を生かした産業の振興
3	バイオテクノロジー（生物工学）やIT（情報関連）産業、DX（デジタルトランスフォーメーション）など先端産業の振興
4	産学官の連携による研究成果・技術・ノウハウの活用
5	戦略的な企業誘致や投資環境の整備
6	海外との経済交流の振興
7	農林水産業の振興
8	産業の担い手となる人材の育成
9	その他（ ）

お住まいの地域について

問5 現在住んでいる市町村にこれからも住みたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	できれば今と同じ市町村に住んでいたい
2	できれば道内の他の市町村に移りたい
3	できれば北海道以外の地域に移りたい
4	その他（ ）



人口減少・少子高齢社会への対応について

問6 人口減少・少子高齢化が進行する中、住みよい地域社会を実現していくために、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1	子どもを生きやすく、育てやすい環境づくり
2	十分な教育を受けることができる環境づくり
3	高齢者や女性、障がい者の活躍の場づくり
4	高齢者などの健康づくりと介護対策の充実
5	十分な医療や介護を受けることができる環境づくり
6	地域産業の振興
7	雇用の場づくり
8	買い物しやすい環境づくり
9	利用しやすい公共交通の整備
10	町内会などのコミュニティづくり
11	移住を希望する人たちの受入れ
12	その他 ()



環境にやさしい地域社会について

問7 人と自然が共生し、環境と調和した地域社会を構築していくに当たって、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1	自然環境の保全に対する道民意識の向上
2	環境保全に配慮した企業活動の一層の促進
3	省エネルギーや風力、太陽光、雪氷熱、バイオマスなど新エネルギー資源の利用
4	徒歩、自転車、水素・電気自動車の活用や公共交通機関の利用促進
5	豊かな森林、多様な動植物などの自然の保全・保護
6	二酸化炭素等の排出削減による温暖化防止など、地球的規模の環境問題に対する貢献
7	ごみ（廃棄物）の発生・排出の抑制やリサイクルなどの推進
8	その他 ()



地域の産業や暮らしを支える人材の育成・確保について

問8 地域の産業や暮らしを支える人材の育成・確保を図るため、今後、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1	子どもたちに対する、ふるさとへの愛着を育む教育やキャリア教育の充実
2	若者が地域に定着し、様々な業種の担い手として活躍できる環境の整備
3	若者が世界にチャレンジできる環境の整備
4	家庭、地域、職場など、社会のあらゆる分野での女性の活躍
5	高齢者、障がいのある人々など多様な人材の活躍の場の確保
6	道外・海外から多様な人材を呼び込むための取組の推進
7	デジタル技術を使いこなすスキルを習得できる教育機会の充実
8	その他 ()



日常生活における移動手段とその満足度について

問9 あなたが普段の生活で利用している主な移動手段は何ですか。また、その移動手段の利用環境に満足していますか。無積雪時と積雪時について、外出目的ごとに、【主な移動手段】、【満足度】から記号を1つずつ選び、記入してください。

【主な移動手段】

- A 自家用車 B 自転車（バイクを含む） C 鉄道 D 地下鉄
E バス F 路面電車 G タクシー H 徒歩 I その他

【満足度】

- ア 満足 イ まあまあ満足 ウ 普通 エ やや不満 オ 不満

外出目的	無積雪時				積雪時			
	通勤・通学	通院	買い物	その他の外出	通勤・通学	通院	買い物	その他の外出
【主な移動手段】								
【満足度】								

デジタル化について

問 10 全国を上回るスピードで急速に進行する人口減少や少子高齢化、広域分散型の社会構造などの課題を解決するため、ICT や AI などといったデジタルを活用した取組を一層進める必要があると考えられています。そのために、道はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1	通信網やデータセンターなど、基盤となるインフラの整備促進
2	学校や地域においてデジタルの活用について学ぶことのできる機会の確保・充実
3	高度な知識・技能を有するデジタル人材の育成・確保
4	デジタル技術を活用して地域の課題を解決した具体的事例の紹介・普及
5	その他（ ）

農林水産物の購入に当たって重視することについて

問 11 世界の食料需給等を巡るリスクが顕在化する中、食料安全保障への関心が高まっており、本道の農林水産業が果たす役割はますます重要になっていると考えられています。農林水産物の購入に当たって重視することとして、あなたの考えに最も近いものを次の中から1つ選んでください。

1	できるだけ北海道産の農林水産物を選ぶこと
2	できるだけ国産の農林水産物を選ぶこと（北海道産にはこだわらない）
3	特に意識していない
4	その他（ ）

ゼロカーボン北海道について

問 12 道では、2050年までに温室効果ガス排出量と森林等による吸収量のバランスが取れ、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける「ゼロカーボン北海道」の実現を目標に掲げており、2030年度に、温室効果ガスを2013年度から48%削減し、2050年に実質ゼロにするという高い目標を設定していますが、風力や太陽光・バイオマスなど、道内に豊富に存在する再生可能エネルギー資源の活用について、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

1	地域経済の活性化や地域振興などへの波及効果も期待できることから更に加速して進めるべき
2	利用するエネルギーのコストや使いやすさにも配慮しながら、時間をかけて進めるべき
3	従来のエネルギーに比べてコストが高くなる懸念があることから、進めるべきではない
4	その他（ ）

SDGsの推進について

問 13 北海道全体でSDGsを推進していくに当たって、行政に期待することを1つ選んでください。

1	SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及
2	セミナーの開催など道民の意識を高めるための取組
3	市町村の支援など地域でのSDGs推進に向けた取組
4	企業におけるSDGs推進を支援する取組
5	市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組
6	その他（ ）

※持続可能な開発目標SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年に国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。

問 14 北海道内において、特に取り組むべきSDGsのゴール(目標)はどれだと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

1	ゴール1 貧困をなくそう
2	ゴール2 飢餓をゼロに
3	ゴール3 すべての人々に健康と福祉を
4	ゴール4 質の高い教育をみんなに
5	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう
6	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に
7	ゴール7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8	ゴール8 働きがいも経済成長も
9	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
11	ゴール11 住み続けられるまちづくりを
12	ゴール12 つくる責任つかう責任
13	ゴール13 気候変動に具体的な対策を
14	ゴール14 海の豊かさを守ろう
15	ゴール15 陸の豊かさも守ろう
16	ゴール16 平和と公正を全ての人に
17	ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



新型コロナウイルス感染症の影響について

問 15 新型コロナウイルスがもたらした生活の変化のうち、その収束後においても定着していると思う変化を1つ選んでください。

1	家庭環境・家族の関係（家族で過ごす時間が増えた、など）
2	仕事・働き方（テレワークやワーケーションといった働き方の変化など）
3	人との交流のあり方（オンラインやSNS等を通じた交流の拡大など）
4	消費活動（通販やキャッシュレスの利用拡大など）
5	余暇・趣味（新たな余暇や趣味が増えた、など）
6	その他（具体的に： _____)

北海道総合計画について

問 16 道政の基本的な指針となる新たな北海道総合計画について、ご意見等がありましたら記入してください。

--

あなた自身のことについてお聞きします。

※ 以下の質問は、ご回答いただいた内容を集計・分析し、統計資料として作成する上で必要とする項目です。**それぞれ該当する項目の番号を○で囲んでください。**
記載された内容については、資料作成以外の目的で使用することはありません。
また、個人を特定するものではありませんので、ご記入くださいますようお願い申し上げます。

F 1 あなたの性別は、次のいずれに該当しますか。

1	男性	2	女性	3	回答しない
---	----	---	----	---	-------

F 2 あなたの年齢は、次のいずれに該当しますか。(令和5年9月1日現在の満年齢)

1	18～29歳	2	30～39歳	3	40～49歳
4	50～59歳	5	60～69歳	6	70歳以上

F 3 あなたのご職業（パートタイマーを含む）は次のいずれに該当しますか。

(注) 複数のご職業をお持ちの方は、主たる職業の番号を1つお選びください。

1	自営業（農林漁業及びその家族従事者）
2	自営業（商工サービス業及びその家族従事者）
3	自営業・自由業（専門的な知識や才能に基づく従事者で、雇用関係から独立した職業分野（開業医、弁護士、芸術家など）
4	事務職・専門技術職（一般事務、教員、看護師、技術者など）
5	一般労務職（技能員、販売店員、セールス外交員など）
6	主婦・主夫
7	学生
8	無職
9	その他（具体的に： _____)

F 4 あなたのお住まいの市町村は、どの振興局管内になりますか。

1	空知総合振興局	2	石狩振興局
3	後志総合振興局	4	胆振総合振興局
5	日高振興局	6	渡島総合振興局
7	檜山振興局	8	上川総合振興局
9	留萌振興局	10	宗谷総合振興局
11	オホーツク総合振興局	12	十勝総合振興局
13	釧路総合振興局	14	根室振興局

F 5 あなたがお住まいの市町村は、次のどれにあたりますか。

1	札幌市
2	人口10万人以上の市（札幌市を除く）
3	人口10万人未満の市
4	町村

F 6 あなたが北海道に住むようになってから、通算して何年になりますか。次の中から該当する番号を1つお選びください。

なお、生まれてから変わらず北海道にお住まいの方は、7の「20年以上」ではなく、8の「生まれてから変わらず」をお選びください。

- | | |
|---|------------|
| 1 | 1年未満 |
| 2 | 1年以上2年未満 |
| 3 | 2年以上3年未満 |
| 4 | 3年以上5年未満 |
| 5 | 5年以上10年未満 |
| 6 | 10年以上20年未満 |
| 7 | 20年以上 |
| 8 | 生まれてから変わらず |

F 7 あなたが現在の市町村に住むようになってから、通算して何年になりますか。次の中から該当する番号を1つお選びください。

なお、生まれてから変わらず現在の市町村にお住まいの方は、7の「20年以上」ではなく、8の「生まれてから変わらず」をお選びください。

- | | |
|---|------------|
| 1 | 1年未満 |
| 2 | 1年以上2年未満 |
| 3 | 2年以上3年未満 |
| 4 | 3年以上5年未満 |
| 5 | 5年以上10年未満 |
| 6 | 10年以上20年未満 |
| 7 | 20年以上 |
| 8 | 生まれてから変わらず |



↑この線で三つ折りにして
返信用封筒に入れてください

《ご協力をいただき、誠にありがとうございました》

ご記入漏れのないことをお確かめのうえ、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和5年9月22日（金）までに郵便ポストに投函願います。

↑この線で三つ折りにして
返信用封筒に入れてください